

山口大学農学部東京支部同窓会



挨拶

深町 輝康 V16 (S43卒)

今年3月所用で山口へ行き、母校山口大学を訪問しました。そして共同獣医学部長、木曾先生をはじめ臨床系の教官数名とお会いしました。農学部獣医学科は平成24年共同獣医学部となり来年3月には共同獣医学部第1回生が卒業することです。

学部昇格は日本の獣医学教育や獣医学研究レベルを世界水準へ引き上げることを目的に改組され、鹿児島大学との共同獣医学部とのことです。昨年最新の研究施設“獣医学国際教育センター i-core”が完成し、腫瘍治療の最新機器放射線リニアックの導入、動物病院の拡充など私が在学した頃とは隔世の感があります。卒業生の一人として母校の発展はうれしい限りです（このニューズレター創刊号に特別寄稿をお願いし、その詳細が2ページ目に述べられています）。

今回の母校訪問でお会いした教官からいくつかの宿題をいただきました。それは在学生は「最先端の現場で活躍中の先輩たちの話をぜひ聞きたい。そのような交流あれば自分の将来についてより具体的で現実的な検討ができ、自分の将来の夢が描きやすい。そんなチャンスを同窓会がぜひ作ってほしい」ということでした。

同窓会活動をもっと活性化させ魅力ある交流の場にすべく努力する覚悟です。皆様のお知恵やご協力をよろしくお願い致します。

TOPICS

山大農農学部の変遷

農学科：(S28~H9)
 農芸化学科：(S41~H6)
 生物資源科学科：(H7~H20)
 生物資源環境科学科：(H17~H28)
 生物機能化学科：(H17~H28)
 獣医学科（獣医専）：(S22~S26)
 獣医学科：(S28~H28)
 獣医学部：(H30~)
 大学院(S46~H28)

農学専攻
 農芸化学専攻
 生物資源科学専攻
 獣医学専攻
 応用分子生命科学系専攻

年度は卒業年
 同総会名簿（2016）より

同窓生関東圏在住者

県 名	同窓生数
群馬	7
栃木	19
茨城	18
埼玉	48
千葉	64
東京	78
神奈川	63
山梨	2
合 計	299

同総会名簿（2016）より

事務局からのお願い

その①

各界でご活躍の皆様

大学卒業後いろんな分野でご活躍のことと拝察いたします。皆様の近況をぜひこの紙面でお聞かせください。会員相互の情報交換や親睦に役立つのではないかと思います。

事務局からのお願い

その②

同窓会の活性化の一環として会員相互の交流を図る目的で、ニューズレターの発行を企画しました。送付には経費や作業量の観点からe-mailを活用したいと存じます（メールアドレスのない方には郵送します）。

そのため、メールアドレスの整備、充実が必要です。皆様のe-mailアドレスを下記のいずれかに、また、皆様のお手元にある在京同窓生（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県、山梨県に在住）のe-mailアドレスもお知らせいただければ非常に助かります。

ただし、メールアドレスの事務局への通知については本人の了承を得てください。

① このアドレスは同窓会通信以外には使用いたしません。

② 配布についてはBCCとして送付しますので、アドレス表

会 長 深町 輝康(V16.S43卒) : smile-vet@chic.ocn.ne.jp
 事務局 桑野 昭 (V21.S48卒) : kuwa5ayt@green.ocn.ne.jp
 幹 事 久保田 徹 (C2.S47卒) : tkubota39@m7.gyao.ne.jp

ニューズレターに対するご意見ご提案などありましたら事務局（桑野、久保田）まで



在京同窓会の皆様へ

山口大学共同獣医学部長 木曾康郎先生



獣医学部近況

山口大学農学部同窓会東京支部の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。常日頃より、農学部獣医学科および共同獣医学部の教育・研究・運営には多大なご理解とご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

山口大学共同獣医学部は1883年6月に創設された「山口栽培試験場農事講習会獣医科」を発祥とし、1949年の山口大学創設に際して、「山口獣医畜産専門学校」（1944年創設、1945年改称）が農学部として参加することになり、山口大学農学部獣医学科が設置されました。1978年4月の修士課程積み上げによる6年制を経て、1984年4月に学部6年制へ移行しました。このように我が国の獣医学教育は弛まない教育制度の改善を図ってきましたが、近年、グローバル化により、食の安全および感染症等への関心と不安が高まり、獣医系大学には、国際社会に対する協調とリーダーシップの発揮、アジアの獣医学拠点となりうる教育課程を構築する債務が生じました。このような中、2008年に大学設置基準等の一部が改定され、複数の大学が相互に教育研究資源を有効に活用できる共同教育課程を設置できる仕組みが整備されたことから、山口大学は鹿児島大学と共に2012年4月に共同獣医学部を設置することにしました。これは我が国初めての試みであり、現在、6年目を迎え、全学年で共同獣医学部生が揃いました。これにより、国際水準の獣医学教育を実施する基盤が整い、文科省の国立大学強化推進補助金事業（2012年採択）により、教員数、施設設備、カリキュラム、教育コンテンツ等の整備・改善が可能となりました。

2020年に欧州獣医学教育確立協会（EAEVE）による国際認証を取得すべく、現在、急ピッチでその準備を行っています。10名の教員増による43名体制、動物疾病シミュレーションシステムの開発、大動物教育研究棟（LASER）の設置、獣医学国際教育研究センター（iCOVER）棟の設置、伴侶動物臨床獣医学実習施設（LINAC）の設置、近代的新病理解剖棟（iPaDL）の竣工が実施されました。カリキュラムには「獣医学教育モデルコアカリキュラム」を斉一教育科目として取り入れ、双方向性遠隔授業システムの活用、マルチメディアによる教材コンテンツの提供、さらに食品・公衆衛生関連の実習および共用試験の導入による参加型臨床実習の充実を目指しています。

さらに来年（2018年）4月には、これまで27年続いてきた連合獣医学研究科を発展的に解消し、山口大学は鹿児島大学と共に共同獣医学研究科（博士後期課程）を創設する予定です。これも我が国初めての試みで、共同教育課程を学部教育のみならず、大学院教育にも発展させ、共同で獣医学士だけでなく獣医学博士を社会に輩出する予定です。これらの教育課程体制の再構築の中で、学生の就学や就職をサポートする体制が立ち後れています。後援会組織は昨年創設しましたが、同窓会組織は、来年3月に卒業する共同獣医学部生の行き先が決まっています。入学時に同窓会入会金は支払っていますが、農学部同窓会の規約に共同獣医学部生は入っていません。農学部同窓会の規約を変更して、共同獣医学部生を正会員にする案はありましたが、今や学部として独立していることから考えると、獣医畜産専門学校-農学部獣医学科-共同獣医学部と縦軸で繋げる獣医系同窓会組織（名称未定）を立ち上げる時が来たと感じています。

さらに、これらに連合獣医学研究科修了生、数年後に修了する共同獣医学研究科修了生をも繋ぐ獣医系同窓会の創設を目指したいと思います。現役学部生からも先輩たちの仕事場を訪ね、いろいろ聞きたいが、どのようにすれば・・・組織的な繋がりはどうすれば・・・などなど、多くの質問を受けます。思えば、独立した学部を持つと言うのが我々の永年の悲願であり、「自分たちのことは自分たちで決める」という強い願いでした。むろん、農学部とは同じ釜の飯を食った仲間ですが、国際水準の教育に一步踏み出すためには、我々自身が物事を決め、実行する必要がありました。EAEVE認証のためには、未だ高いハードルが山積していますが、皆の知恵を出し合ってひとつずつ乗り越えていきたいとします。「国際水準の獣医学教育の実現」という強い決意で望む所存です。開拓者としてのチャレンジ精神、現状に甘んじることなく、異分野・新しいことへの挑戦を続ける強い意志を持ち続け、しかし、心に余裕を持って、試行錯誤を楽しみながら前進したいと思います。大学は「ひとつくり」が原点です。新しいタイプの獣医学士・獣医学博士をつくりたい・・・私達の夢です・・・夢をあきらめない！

山口大学農学部同窓会東京支部の皆様におかれましては、何卒、獣医系同窓会の創設にお力添えをいただければ、そしてさらなるご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

TOPICS

次号の特集は同窓会東京支部の歴史を大橋義光先輩（獣医専5回卒、元東京支部会長）に執筆をお願いしました。ご期待ください。

平成29年度東京支部同窓会 開催のお知らせ

日時：平成29年11月25日（土） 14：00～17：30

場所：赤坂エクセルホテル東急
13階

総会・小講演会： 雅の間
懇親会： 光の間
東京都千代田区永田町2-14-3
TEL：03-3580-2311

編集後記

発行/山口大学農学部同窓会東京支部
発行人東京支部同窓会事務局

山口大学を卒業し、かなりの時が過ぎました。大学で学んだことがベースとなりその後の人生を決定づけました。母校が我が人生の原点かな、とも思う日々です。